

1月17日 金

シンポジウム

とき (18:00~20:45) 開場: 17:30

ところ: 沖縄県立博物館・美術館 3F 講堂

資料代: 499円

オンライン参加 無料 (要事前申込)

浦添西海岸埋め立て問題を考える

この講座の趣旨は、第一に浦添の海が実に素晴らしい海だということとを皆の共通認識とすることです。そして第二は、軍港が那覇から浦添に移設されることとなった歴史的経緯(日米間の交渉)の真実を知ることです。浦添市民、そして沖縄県民の多くに欠けているこの基本認識の獲得を支援しようというのが開催の趣旨です。

浦添のサンゴ礁と環境アセスメントについて

生物多様性豊かな浦添西海岸は、沖縄島に残された数少ない健全なサンゴ礁生態系のひとつである。環境アセス文書に示された環境影響の回避・低減は具体性がなく根拠に欠ける。埋立計画は見直すべきである。

日本自然保護協会 保護・教育部主任

安部真理子



浦添の海の自然と環境教育

浦添の海にはどんな自然があり、それは近年どう変化しているのか。サンゴ礁の役割や価値とは何なのか。これらを理解し自然を残すためにこそ必要な「環境教育」の意義を、これまでの活動とともに紹介する。

しかたに自然案内 代表、里浜 22 共同代表

鹿谷麻夕

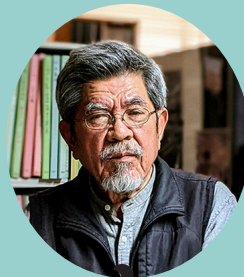


1960年代からの米軍・浦添軍港計画

浦添西海岸には、沖縄県、那覇市、浦添市による港湾の新設計画があり、その中に米軍の軍港計画も盛り込まれている。この軍港計画は米軍が1960年代に立案している。米軍の文書を元にこの米軍計画を明らかにする。

建築家、沖縄平和市民連絡会

真喜志好一



メディアは 全ての人権のため 隠された真実を暴ける

第6回連続学習会のプログラムと参加方法

開会挨拶

18:00～18:05

桜井国俊（「沖縄・琉球弧の声を届ける会」 共同代表）

第1部：講演会

18:05～18:45

安部真理子氏（浦添のサンゴ礁と環境アセスメントについて）

18:45～19:25

鹿谷麻夕氏（浦添の海の自然と環境教育）

19:25～19:45

真喜志好一氏（1960年代からの米軍・浦添軍港計画）

休憩 19:45～20:00

20:00～20:40

質疑応答：（質問用紙にご記入、ご提出下さい）

閉会挨拶

20:40～20:45

鷺見幸子

シンポジウム オンライン参加の申し込み先

参加申込・ご寄付は
Peatix サイトより



ハイブリット配信

会場 沖縄県立博物館・美術館 3F

申込不要

資料代499円

オンライン ZOOM 申込必須

参加費無料

○ 後日、「沖縄・琉球弧の声を届ける会」 Youtube チャンネルにアーカイブ配信予定です。

ご寄付・カンパのお願い！

振込先

沖縄銀行泡瀬支店 普通 1941039

オキナワリュウキュウコノコエフトドケルカイ

（沖縄・琉球弧の声を届ける会）

Peatix にて Web からオンラインで寄付も受け付けます

詳しくは以下サイトから

<https://ryukyus.peatix.com/>

沖縄県立博物館・美術館地図



沖縄県那覇市おもろまち3丁目1-1 駐車場有り、無料

「沖縄・琉球弧の声を届ける会」
ホームページはこちら

https://ryuk_ukohp.jimdofree.com/



賛同団体

泡瀬干潟を守る連絡会、沖縄環境ネットワーク、嘉手納ピースアクション、基地・軍隊を許さない行動する女たちの会、ジュゴン保護キャンペーンセンター、ノーモア沖縄戦場どう宝の会、平和市民連絡会、ヘリ基地反対協議会、ミサイル配備から命を守るうるま市民の会、NPO 法人奥間川流域保護基金、普天間基地爆音訴訟団、有機フッ素化合物（PFAS）汚染から市民の生命を守る連絡会、日本ジャーナリスト会議、日本ジャーナリスト会議沖縄